

石山・芸術の森地域 石山部会 ニュース

石山・芸術の森地域では、平成 26 年度に「石山・芸術の森地域学校規模適正化検討委員会」を設置し、それ以降、地域の 4 小学校を対象に学校規模適正化についての検討を進めてきました。また、平成 27 年度からは「部会制」を導入し、「石山部会（石山小学校・石山南小学校）」と「芸術の森部会（常盤小学校・石山東小学校）」に分かれて、より具体的な検討を進めています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

第 8 回石山部会について

9 月 12 日（月）午後 1 時 30 分から、石山まちづくりセンターで第 8 回石山部会を開催し、前回に引き続き、校名の公募方法等について検討しました。また、まちづくり政策局都市計画部から石山南小学校の跡活用に関する説明がありました。

地域の皆さんから寄せられた意見（報告）

6 月に開催した第 7 回部会以降、地域の皆さんから寄せられたご意見について、事務局から 2 件の報告がありました。

- この地域は昔からの世帯が多く、学校への協力体制も整っている。ただ、学校が新しくなると、これまで学校を支えてきた方々の気持ちはどうしても途切れてしまう。こういった方々の気持ちをいかに新設校につなげていくかが重要。例えば神社と新設校が連携するなど、少しずつでも地域の方々の気持ちを引き付けていくべき。気持ちはすぐに切り替えられるものではないが、時間をかけて取り組むべきだし、教育委員会もしっかりサポートすべきである。
- 施設の複合化については、検討の進め方が誤っていたのではないかと。まちづくりに関わる人たちも含めて、もっとしっかり議論すべきだった。色々な意見があっても、しっかり議論したうえでの結論であれば前向きに取り組むのがこの地域の特徴。新設校の校名についてもワークショップなどで広く地域の方の意見を聞くべきではないか。
- 新しい学校を作っていくのであれば、過去にとらわれ過ぎず、しっかりと新しい校風を作っていくことが重要。新設校にはこれまでの両小学校の記念品等を展示予定とのことだが、多すぎると逆効果になる。その意味では、これまでの小学校の資料ではなく、地域の子どもたちが石山地域の歴史（軟石、屯田兵、豊羽鉦山選鉦場 等）を学べるような展示にすべきだと思う。

（平成 28 年 8 月 手紙・口頭）

- 石山南小の跡活用等に関連し、石山地区に弓道場の設置を検討してほしい。少子化が進むと団体競技の部活も作りにくい、弓道なら個人でもできるし、運動に苦手意識のある子の受け皿にもなる。老若男女が参加できるスポーツで、多世代交流にもなる。石山地区の歴史ある雰囲気とも合うのではないかと。

（平成 28 年 8 月 電話・FAX）

検討事項

◆校名案の公募について

前回部会の検討を踏まえ、事務局から以下の説明がありました。

＜校名案の公募について（事務局案）＞

- 公募期間：約1か月間（9月下旬～10月下旬）
- 公募対象：両小学校の児童、保護者
石山中学校の生徒
石山地区居住者、関係者（石山地区にお勤めの方など）
- 応募用紙：「大人用（中学生含む）」「4～6年生用」「1～3年生用」の3種類
校名案やその理由に加え、新しい学校への要望等を記入
新しい学校という趣旨から、現在の校名は使用できない旨を注記
- 配布方法：児童、生徒、保護者へは学校から配布
地域の方へは町内会回覧（抜き取り方式）で配布
その他、関係施設にも配架依頼

【事務局補足】

今回の部会での検討を踏まえ、公募期間や応募用紙の内容、配布方法を上記から変更しています。校名の公募方法等については、最終ページの「事務局からの連絡」をご覧ください。

◆跡活用の検討方法について

石山南小学校の跡活用の検討スケジュール案や、他地域の跡活用事例等について、まちづくり政策局の職員から以下の説明がありました。

- 今後の検討スケジュール（案）
平成28年度～ 周辺地域の現況調査 及び 必要機能の検討
平成29年度～ 具体的な跡活用の検討を開始
- 過去の学校跡活用の事例
 - ・旧 曙小 → あけぼのアート&コミュニティセンター(貸付)
 - ・旧 星園高 → 市民活動プラザ星園（貸付）
 - ・旧 真駒内緑小 → まこまる（官民複合施設）
 - ・旧 もみじ台南小 → ゆいま～る・もみじ台(地域貢献活動の条件付売却)
 - ・旧 もみじ台小 → 星槎もみじキャンパス(地域貢献活動の条件付売却)
- 跡活用にあたっての法令上の制限（建築基準法・消防法）
現在の学校施設を、学校以外の用途で使用する場合には、排煙設備やスプリンクラーの設置等が必要となる。

委員意見など

委員から以下のようなご質問、ご意見がありました。

◆校名案の公募について

＜公募方法に関するご意見＞

- 公募期間はできる限り長く設定すべきである。
- 町内会の回覧や配架だけでは気付かない方もいるのではないかと。地域の関心を高め、昔から地域にお住まいの方等からもなるべくご意見が頂けるように工夫すべき。地域の学校なのだから「地域がみんなで考えた」と言えるような取組にすべきだと思う。
- 石山中学校で応募用紙を配布するのはいいが、中学校には他の地域から通学している生徒もいる。中学校で配布する際は、決して無理強いせず、任意で応募できるよう配慮すべきだと思う。

<応募用紙に関するご意見>

- 「石山小学校」や「石山南小学校」などの現校名は使えないと記載すると、例えば「石山〇〇小学校」のような校名さえ応募できないように見えてしまう。誤解を生まないように工夫した表現が必要。
- 歴史ある校名であり、公募で「現在の校名が使用できない」という制限は設けるべきではないと思う。昔から地域にお住まいの方など、現在の校名に愛着がある方もいる。そういった意見も受け止めたくて検討していくべきではないか。
- 現在の校名を使用した場合、もう一方の学校からはどうしても不安や不満が出る。学校の歴史も、現在の子どもたちがあまり意識することではない。両小学校のいい所や、子どもたちが各小学校で学んできたことを、ポジティブに活かせるような校名にすべきではないか。
- 校名がなくなれば寂しいという気持ちはわかる。ただ、未来に目を向けてこれからの子どものことを考えるなら、やはり新しい校名にすべきだし、それにより子どもも保護者も心をつなげて協力できるのだと思う。みんなで新しい学校の歴史を築いていけたらと思う。
- 前向きに新しい校名を考えていくためにも「使用できない」というネガティブな表現は避けるべきだと思う。「新しい小学校」の「新しい校名」であることが伝わる内容に修正すべきではないか。
- 地域の中には、学校の施設が新築されるだけ、と認識している方もいる。施設だけではなく、新しい学校を作っていくのだということが、はっきりわかるような表現にすべきだと思う。
- 校章や校歌を併せて募集するのは面白いが、集計や審査が非常に難しくなるという懸念もある。
- 校名の選考基準等も事前に明示すべきではないか。
- 小学校である以上、一番大切な基準は、両小学校の子どもたち、さらには将来の子どもたちが誇りを持てる校名かどうかということ。合併でも吸収でもない。新しい小学校が誕生する。子どもを第一に考え、これからの児童、保護者、地域が100年たっても誇りを持てる名前にすべき。応募用紙にはそのような趣旨を記載すべきと思う。

<公募後の校名選考に関するご意見等>

- 公募の結果、応募が多かった校名で決定とするのか。

(事務局回答)

過去に校名を公募した事例では、公募結果を参考に、地域の検討委員会で議論をいただき最終的な校名を決定しています。

必ずしも応募数だけで校名を決定しているものではありません。

- 地域の学校だからこそ、校名についても地域がしっかり検討すべき。公募結果をもとに、この検討委員会でしっかり議論すべきと思う。
- 多くの意見を聞くため、校名選考の際に委員を追加してはどうか。
- 小学校の主役は子どもたち。もし委員を追加するなら、これから入学する子どもをお持ちの保護者の方等がいいと思う。
- どの学校かわからない校名は望ましくないと思う。その意味でも、石山という地名を含んだ校名がいいのではないか。
- 必ずしも地名に縛られる必要はないのではないか。意味のある校名、素敵な校名であれば、そういったものでも受け入れるべきだと思う。前向きに素敵な名前を考えていければよいと思う。
- 選考では、校名案の理由等も含めてきちんと検討すべきである。

◆石山南小学校の跡活用の検討方法について

- 地域をあげて検討すべき事項。予算や法令の制約はあるのだろうが、将来に渡って有効活用できるような方向を考えていくべきだと思う。
- 跡活用にあたり地域の負担や協力が必要であれば、なるべく把握しておきたい。地域で議論をするのはいいが、そういったことを理解してからでないとな毛な議論になりかねない。

決定事項

第8回石山部会では以下の方針を確認しました。

校名案の公募については、事務局で応募用紙の内容、配布方法、公募期間等を再検討して実施する。
公募結果は次回部会で事務局から報告する。

石山南小学校の跡活用については、周辺地域の現況調査の結果等も踏まえ、次回部会で引き続き検討する。

事務局からの連絡

第8回部会での検討を踏まえ、以下のとおり新設校の校名案を公募いたします。皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています。

【応募用紙】

≪ 両小学校の児童・保護者、石山中学校の生徒の皆様へ ≫
10月以降、各学校を通じて応募用紙を配布します。

≪ 石山地区にお住まいの皆様、お勤めの皆様等へ ≫
10月以降、各小学校や児童会館、まちづくりセンター等に応募用紙を配架します。
また、10月中旬以降には各ご家庭に応募用紙を戸別配布（ポスティング）します。

【応募方法】 事務局への郵送、FAX、Emailのほか、各小学校やまちづくりセンターに提出いただくことも可能です。詳細は応募用紙をご確認ください。

【応募期限】 平成28年11月18日（金）必着

【注 意 点】 ご応募はお一人様一案限りとさせていただきます。
聞き取り誤り等を避けるため、電話での応募はご遠慮ください。
ご不明な点等がありましたら、随時、下記事務局までお問い合わせください。

第9回の石山部会について

第9回の石山部会は、校名案の公募結果報告や、跡活用検討を議題として、11月下旬～12月上旬頃の開催を予定しています。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せください ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局
札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル
T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837
E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載します。
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>